



科学の「目的」は何なのかって難しい問題ね。



まず、具体的に考えてみようよ。たとえば、大昔は畑を「くわ」で全部耕していたんだよね。でも、今は「トラクター」だよ。これって、やっぱりくわじゃあ疲れるからじゃあないかな？時間もかかるしね。



じゃあやっぱり時間的にも肉体的にも「ゆとり」を感じたかったんじゃないかしら。



たしかに、くわで全部耕していた頃と比べるとかなり時間的にも肉体的にもゆとりができただろうね。



それじゃあ、パソコンも同じことかしら？



ぼくはちょっと違うと思うな。たしかにパソコンはすごいと思うよ。電話帳何冊ものデータを一瞬で記憶してくれるんだから。修正するときはそのデータを開いて打ち直せばいいし、難しい計算も簡単にこなしてくれるしね。ただ、はやく出来たら「ゆとり」ができるかというとなんかちがうよね。はやく出来たら次の仕事をさせられるから時間的にも肉体的もつらいよね。



ということは、そもそもパソコンは「ゆとり」を感じるために誕生したものじゃないのね。



たぶん「ゆとり」のためじゃないと思うわ。もしそうだとしたら、科学技術が進歩すればするほど私たちは幸せになれないってことよね。



そこまでは言えないんじゃないかな。科学技術にも良い面があると思うよ。たとえば、医学の進歩によってぼくたちの病気は治るようになり、その結果寿命は延びているし。パソコンの普及（ふきゅう）によって、様々な情報も手に入るんだからね。



科学って言っても全部同じじゃないのね。良い面と悪い面があるのね。どこが良くてどこが悪いのかももう一度考えてみることにするわ。



それに「ゆとり」を感じる事がみんなの幸せとは限らないよね。人によって幸せの価値観は違うんだから。忙しくて肉体的につらくても、好きな仕事をしていたら幸せかもしれないんだからね。



自分にとって幸せなのかどうかってことね。それぞれが考えればいいことなのかもしれないわね。



そうかしら？わたしは毎日夜中までパソコンに向かっているのが幸せなんて信じられないわ。だってそんなに忙しいと春の香りを感じたり、夏には虫の音を聞いたりする気持ちにならないでしょ？そんな風情を感じることは人間にとってすごく大切なことだと思うのよ。



科学は何のためにあるのかってことをもう一度よく考えてみるわ。

※このステップでは、できるだけいろいろな意見を出し合うようにしています。いろいろな意見を読んで、自分はどう思うのか考えてみましょう。そうすることで、知らない間にテーマに対する考え方が身についてくるのです。

※お母さんやお父さんなどと、意見を出し合ってみるといっその力がつくはずです。会話することで、言葉や表現力も自然と身についてくるのです。

※実際のテキストでは、もっといろいろな意見を掲載しています。